



日本は私のタイムマシン

バトナサン ウーガンエルデネ
BATNASAN UUGAN-ERDENE

2年前、技能実習生としてモンゴルから来日した私は、自動車の重要な部分に使われるネジの目視検査をしています。

日本は母国モンゴルより経済の発展が進み、来日したばかりの頃は、社会・文化・環境・気候の違いにとまどうのと同時に周りの人々が進んでいるようで、まるでタイムマシンに乗って未来に来たように感じられました。どこに行っても「うおー」と驚く事が多く、この中で生活している日本人を羨ましく思った事もありました。また、一方でこの社会の中で生活し技能実習する事が出来、嬉しかったです。日本に来たばかりの頃は、言葉をうまく伝えられず相手に勘違いされて怒られた事もありました。体調も良くはなく、泣く事や色々な困った事もありました。この時は「三年間って長いなあ」と思い技能実習を諦めて帰国しようと思った事もありました。

しかし、私はある事がとても気になり、この秘密を知りたくなり日本語を一生懸命勉強して、もう少し頑張ろう。そして、自分に負けないで3年間の技能実習を続けようと決心しました。

自動車はネジなどの一つ一つの部品がないと動く事が出来ません。そしてこれらの部品を作る事が出来るのは作業に集中し、心から仕事に取り組み、一人一人が協力し合いながら進める日本の仕事の仕方でした。失敗したら原因を探

して二度と不具合を出さないようにする。自分の事よりチームの事を大切にし、役職者でも必要があれば進んで掃除を行う。日本人にとっては、あたり前の事が外国人の私にとっては日々敬服する事がたくさんあり、これを身につけて帰国し、学んだ事を母国の人々に伝えたかったからです。母国の人々がこのように働けば、必ず日本のような未来が待っていると信じています。だから、私は母国によい未来を運ぶ為のタイムマシンを作る方法を学ぶ事が日本へ実習に来た意味なのだと考えるようになりました。

目的を持った実習生活がとても楽しく、いろいろな事にもやる気が出てきました。あまり上手ではなかった日本語も7月には、N1を受験出来るレベルにまで上達しました。モンゴルに帰国したら、私が検査したネジが使われた車を運転し、タイムマシンを作る方法を広めて、モンゴルに素晴らしい未来が訪れる事を楽しみにしています。

受賞の喜び



国 籍 モンゴル
職 種 機械検査
実 習 実 施 者 藤田螺子工業株式会社
監 理 団 体 九州ネット協同組合

バトナサン ウーガンエルデネ

私は、バトナサン ウーガンエルデネといいます。モンゴルから技能実習に来ました。

今回の第30回JITCO日本語作文コンクールで優秀賞になったという連絡があり、「本当なの」って驚くのと同時にまだ、信じられないほど嬉しいです。

日本での3年間は、同じ実習生の仲間とたくさんの楽しい思い出を作る事が出来ました。その中でも、この作文コンクールで優秀賞になった事が一番の良い思い出となりました。

7月に技能実習が終わった私は、モンゴルに帰国したばかりです。作文に書いたとおり、仕事のやり方など、日本で多くの事を学び、身につけました。私は学んだ事を母国に広める為、今から一生懸命頑張っています。

またいつか他の目的を持って日本に行きたいと考えています。その時は、よろしくお願いします。

バイオテクノロジーを学んでいた為、日本語がほとんど分からなかった私に基礎の日本語を教えてくれたモンゴルのベウラLLC送り出し機関、技能実習及び生活を支えてくれた藤田螺子工業株式会社、九州ネット協同組合の皆さん、そして仲間たちに心から感謝しています。

指導員のことば

少しずつ日本語を身につけ、思い返せばウーガーさんとは普通に日本語で会話をしていた毎日でした。

毎日の生活で彼女が思うこと、感じていたこと、これからの事を想うこと。

日本語の文章で表されたモンゴル人の彼女の表現力に驚きました。

一緒に同じ会社で仕事ができることを誇りに思います。

藤田螺子工業株式会社 製造部 岡田 将伸